

報道関係者各位
プレスリリース

2025年9月29日
エコモット株式会社
(東証グロース/札幌アンビシャス 証券コード:3987)

NEWS RELEASE

エコモット、IoTによる水門遠隔操作の実証実験を青森県弘前市で開始 ～豪雨・豪雪時の安全確保と迅速な対応を実現し、防災と地域の効率化に貢献～

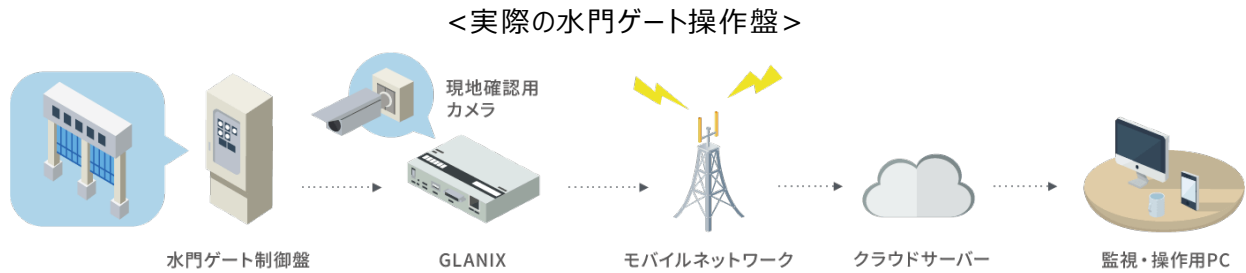
エコモット株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役：入澤 拓也、以下「エコモット」）は、株式会社ジェミオ（本社：青森県青森市）と共同で、岩木川土地改良区と青森県弘前市が管理する水門において、エコモットの IoT データコレクトプラットフォーム「FASTIO」を用いた水門遠隔操作の実証実験を 2025 年 9 月から正式に開始しました。

本実証実験の対象となるのは、弘前市の右岸幹線用水路（二階堰）にある余水吐水門（排水門）です。従来、水門の操作は、大雨や冬期間の除雪が困難な状況下でも現地に向かう必要があり、操作員の安全性確保が課題となっていました。また、近年多発するゲリラ豪雨や豪雪への迅速な対応も求められています。今回の実証実験において、既存の水門ゲート操作盤に後付けでエコモット製の IoT 接点・画像伝送端末「GLANIX LTE」を組み込むことで、安価かつ容易に遠隔操作を実現します。このシステムにより、操作員は遠隔地から安全に水門を開閉できるようになり、緊急時の迅速な対応が可能となります。加えて、移動にかかる時間やコストの削減効果も期待できます。

今後、エコモットとジェミオは、本実証実験を通じて得られたデータやノウハウを活かし、同様の課題を抱える他の施設への「FASTIO」導入も目指し、地域社会の防災・減災と効率化に貢献してまいります。

<実際の水門ゲート操作盤>





■IoT データコレクトプラットフォーム「FASTIO」とは

エコモットがこれまで 13,000 件以上の現場運用で培ったノウハウを元に開発した、IoT データの収集・管理に必要な機能をスピーディに提供するプラットフォームです。ユーザーは、センサーの選定や設置に気を取られることなく、収集したデータの活用という最も重要な DX 推進に集中できます。

FASTIO サイト : <https://www.fastio.jp/>

■今後の展望

エコモットは、今回の実証実験で得られる知見やノウハウを活かし、水門遠隔操作システムのさらなる普及を目指してまいります。インフラ維持管理における人手不足や高齢化が課題となる中、IoT・AI を活用した省人化ソリューションは必要不可欠なものとなっています。

今後も、水門だけでなく、河川、道路、ダムといったあらゆるインフラ施設に対して、監視・遠隔操作・自動制御といったソリューションを提供し、インフラの管理業務の省人化を IoT・AI で実現してまいります。

■エコモット株式会社について

エコモットは 2007 年の創業以来 IoT 専門のソリューションベンダーとして、センサー・自社開発通信デバイスの提供を行うとともに、多様な顧客ニーズに応じたカスタマイズ、現場での設置ノウハウを提供し、あらゆる「モノ・コト」からセンシングを可能にするソリューションを提供しています。2017 年 6 月に札幌証券取引所アンビシャス市場、2018 年 6 月に東京証券取引所マザーズへ上場。2019 年 1 月に KDDI 株式会社、2023 年 3 月に積水樹脂株式会社と資本業務提携いたしました。

所在地 : 〒060-0031 北海道札幌市中央区北 1 条東 1 丁目 2 番 5 号 カレスサップロビル 7 階

代表 : 代表取締役 入澤 拓也

設立 : 2007 年 2 月

資本金 : 6 億 1,796 万円 (2025 年 5 月末現在)

事業内容 : IoT ソリューションの企画、およびこれに付随する端末製造、通信インフラ、アプリケーション開発、並びにクラウドサービスの運用・保守に関する業務のワンストップでの提供

URL : <https://www.ecomott.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

エコモット株式会社 広報 薄木

TEL : 011-558-2211 MAIL : press@ecomott.co.jp